

食品安全モニターになりませんか？

食品安全委員会は、市民の皆様が日常生活で感じている食品安全に関するさまざまな課題や疑問を聞き、運営の改善に役立てるため、発足当初から毎年度、「食品安全モニター」を公募し、協力していただいています。

普段食べているものの安全性をより詳しく知ることができるのではないかと思います、2021年に応募しました。e-ラーニングでの基礎的な知識やセミナーでの最新の情報が大変勉強になり、周りの方へのアドバイスや情報の紹介もできるようになりました。ぜひ一緒に活動しましょう。



鈴木 祐子さん
(神奈川県)



土谷 啓文さん
(東京都)

自治体で食品衛生監視員として勤務し、退職後も意義ある人生を送りたいと思い応募しました。食品安全に関する最新情報が得られ、随時報告した自分の意見などを聞いてもらえるのが嬉しいです。退職された、専門知識をお持ちの皆さん、仲間内で盛り上がっていても現状は変わりません。「もの言う消費者」として、ともに食品の安全に貢献しましょう。

食品系の企業で産休に入る際に食品安全モニターを知り、休みの間も最新の情報を知ることによって知識や意識を深め、それを社内外に伝えることで食品安全の裾野を広げたいと思い応募しました。食品安全モニターを対象としたアンケート調査の結果を拝見し、他の皆様の関心事、自身との共通点や相違点に気付きを得ています。行政と消費者の皆様を繋ぐ大切な役割、また自分自身のアンテナの一つとして楽しく活動していきたいです。



村上 恵さん
(東京都)



中村 裕行さん
(兵庫県)

食中毒の事案やそれによる重症化の話題に触れ、食中毒をもっと減らすことはできないかという思いがあり、2018年に食品安全モニターに応募しました。食品安全の基礎知識や、充実した最新の情報を得られ理解が深まっています。食品の安全に関しては正しい情報と間違った情報が混在していると思いますが、ここで得られた正確な情報を良好なコミュニケーションを通じて広げていただくことで、我が国の食品の安全性の維持・向上が図られると思っています。

活動内容と応募要項

- 毎年度、12月～1月に130人程度を募集、任期は1年間（最長5年まで延長可）。
- 応募資格は、大学等で食品に関連した分野を学んだ方、食品安全に関する業務に携わっていた方など。
- 食品の安全で気づいたこと、当委員会へのご意見などを、自分からいつでも何回でも提案できます。
- 食品安全モニター専用のe-ラーニング（計13回の講義を3か月間いつでも受講可）と、モニターを対象としたセミナーを無料で受講できます（2022年度は添加物とかび毒、2021年度は食の安全に関する国際動向とアレルギーについて実施）。見逃し配信もあり、わからない点等はいつでも当委員会に質問できます。
- 上記で学んだこと等を周囲の方に情報提供していただきます。

食品安全委員会
ウェブサイト
食品安全モニター

<https://www.fsc.go.jp/monitor/>

